

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 新生 RNA ライフサイクルを制御する転写終結機構の解明
2. 研究代表者： 野島 孝之（九州大学 生体防御医学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、独自の新生 RNA 解析方法である mNET-seq 法を用いて転写終結機構を解明し、医学的応用につながる知見を得ることを目指している。

フェーズ 1 では、大腸がんにおいて特定の転写因子やヒストンメチル化修飾と転写終結破綻との関係を見だし、未成熟転写終結の新規誘導法を活用してその分子機構の解明を進めた。未成熟転写終結機構の解明やゲノム転写終結に対する遺伝子間領域の役割の研究課題に遅れが見られたが、国際的な共同研究の体制を構築している点は評価できる。フェーズ 2 では、転写終結機構をターゲットとしたがん治療薬を目指した化合物スクリーニングや新たな PTT 産物解析法の開発など発展的な計画が立てられており成果が期待できる。

以上